明治天皇御製 皇后御歌

明治十二年

一

特別
へ2
4867
30(1)

明治十一年　同十二年

御制衣

御発會　三條ヘ賜ル薫物　新年芸樂ホ

御制衣別記ニアリ

二冊ノ内

皇后御歌

御発會　二月五日　四月五日　五月五日　内ノ水會

女大臣取筆族学校へ詣　下ホ

御歌別記ニアリ　自余考第九十ニ

空礼鏖礼巻

白金砂子小短冊一之上
揮小型紙　一之下
蒔絵小型紙　二之上
蒔絵小型紙　二之下
乾漆小提箱　三之上
蒔朱小型箱　三之下
一切上六冊ヲ

他ハ陛下
御製
皇后御製　御字稿
右白羽二重表紙
一貫縮緬袋入
明治十一年十二月十九日
内閣ヘ献上ス
空一冊ヲ内ノ分ニ
安置ス

明治六年ニ至リ　御製　但明治七年十二月御分
御製　明治七年以来　毎月御会　御製　御会歌　御製
明治七年以来　毎月御会　御製
明治十年以来　別紙　御製　芳詞
明治十年以来　別紙　御製　御歌
詠歌

[illegible]

[illegible]

四月五日 市月次

[illegible]

明治十一年 一月 [illegible]

五月五日

[illegible]

六月五日

舟中 [illegible]

[illegible]

七月五日

浦 夏草

夏草に志けこまる志ら露を
たれかも深し浦の夕風

盧橘　けいきんかす

[illegible]

[illegible]

梅の[illegible]

[illegible]

八月五日　伯德録　十二年二月八日拜見

[illegible]

梅者

[illegible]

夕梅

[illegible]

梅生

[illegible]

待梅

[illegible]

里梅

[illegible]

[illegible]

三月五日拜見季知一人

同 二年 同月廿二日 [illegible]

野遊

[illegible]

同上

[illegible]

三月五日拜見季知一人

[illegible]

左い一枝

白妙に[illegible]

[illegible]

[illegible]

同上

[illegible]

[illegible]

同上

寒香亭の梅を題く

[illegible]

同上

春のよもぎを題す

[illegible]

同上

春月寒

[illegible]

御制歌　三月十三日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同上

四月十二日拜見　重知一人

御無紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

禁庭梅花

こそ此の梅の葉のたゞにもきこ落りそこゝ[illegible]れけるこゝ那し

かけ[illegible]の木の[illegible]の白たへにこゝ[illegible]は梅のさかりの[illegible]

梅花敬風

吹風のさふひ[illegible]して梅のこれ[illegible]方[illegible]

[illegible]梅の[illegible]

梅の木にかゝりをたゝをて

[illegible]たへの梅もてりにてさ[illegible]

杜間梅

ごれてなる[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]梅の[illegible]

梅のそとにてり[illegible]

[illegible]梅のもてはしく花のこゝ[illegible]

梅のさかりに[illegible]

[illegible]梅のさかりの花の香にことし[illegible]

梅林に[illegible]をあつとてらさる

[illegible]梅のさかりにことをてあつ[illegible]

梅林の[illegible]

[illegible]梅の[illegible]

五月雨の頃ト兩人拜見

玄德躍馬跳檀溪

黒駒よ立ちしかれく
[illegible]
人の[illegible]
[illegible]
立ち入てせこうなく
[illegible]

鈴掛

[illegible]

鈴掛

雨中花　五月九日　手知一人拝見

春雨にぬれて中々桜さく [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

葉え躑躅

[illegible]

待郭公

[illegible]

夜山[illegible]

七月十六　松虫音

[illegible]

池蛙

[illegible]

花頭鈴掛

[illegible]

鈴掛ハ高年春ヒ夏ヒ可間 [illegible]

以上木字五ム○

五月十六日 歌名移水 五月十八日拜見此 [illegible]

[illegible]

禁足躑躅

[illegible]

待郭ち

[illegible]

右山紙

五月十六日 [illegible]

[illegible]

地蛙

[illegible]

[illegible]

花顔鈴掛

ほつてきうれ此のこまへの社あるをしらせ見る間 [illegible]

牛林等

[illegible]

右山中 以上山家スム

五月十八日 更衣 七月二日 [illegible] 芳樹両人拝見

夏 [illegible]

行郭公

夏 [illegible]

蜘蛛

雜 [illegible]

春 [illegible]

山吹

雨中山吹 [illegible]

雜 [illegible]

五月十八日 牡丹

夏 [illegible]

藤花物数

春 [illegible]

雨中卯花

夏 [illegible]

以上山家スム

夏

船中郭公

七月二十日 [illegible] 作者 [illegible] 正風拝見 [illegible]

ゆふ川にたつ [illegible] 船 [illegible]

盧橘

[illegible] 花の [illegible]

夏

庭 [illegible]

[illegible] 花 [illegible]

同

水島近笛

ゆふ [illegible]

同

[illegible]

夏

[illegible] 夏の [illegible]

初二の句をもう少し作りかへたし

同

月下郭公

[illegible] 郭公 [illegible]

上野 [illegible]

[illegible] 山の [illegible]

同

盧橘

[illegible]

同

連日梅子

[illegible] 郭公 [illegible]

同

[illegible]

同

舟中梅雨

舟人の [illegible]

雑

田家

[illegible]

夏

花菖蒲

[illegible]

同

杜鵑

[illegible] あやめ [illegible]

夏

日雖

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上[illegible]スム○

蘆間螢　七月廿四日拜見

[illegible]

[illegible]スム○

七月十二日　夏中郭公　武補廣情ヲ以テ所望見セマホ一人拜見

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夏草[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上[illegible]スム○

龍頭瀑　七月十二日手紙一人拜見

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上[illegible]スム○

小蝶ノ事 後漢三才圖會ニ云

村示庭小蝶 七月十七日 一人拜見

○我 又そ[illegible]

右小蝶ノ下不見為ノ絵相伺ニ如只小キ蝶ノ有ニ夫ヲ[illegible]
讀ノ由然ハ加中堂ノ通ハ[illegible]

朱墨ノ小ハ下[illegible]中上ル者之

右[illegible]大ム○

七月十三日 夏草[illegible] 七月六日 御車ニ一人[illegible]

○[illegible]

夜納涼

○[illegible]

[illegible]夜涼

○[illegible]

船中納涼

○[illegible]

[illegible]迎蝶

○[illegible]

以上[illegible]大ム○

八月五日拜見一人也

八月[illegible]

河上夏月

[illegible]

夏草深

[illegible]

東のかたちに作りなしたる垣の殿うかを

胡[illegible]

以上[illegible]

井風夜深　八月十七日[illegible]一人拜見

[illegible]

名所夏月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

河内深

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山[illegible]

[illegible]

山[illegible]

此作(?)制(?)作(?)駅(?)にてよみ(?)たるなり

くにの宿(?)にて近き比伊(?)せ(?)に関路を通り

[illegible]時

くにの山けはしき坂もこえゆかは心もやすく通りけらん

小車のをれ巻上てし坂をは摺りて白ふしの[illegible]

[redacted]海の方のみとこそ

十一月廿(?)日別紙之

路の旅にこそのれ数もしも敷のふちのを絶ゆ

右未学大人

松間紅葉

十二月二日第一人拜見

正代筆到来ゟ拾五ノ

小萩さへ未だ秋の花ともにこえて赤きは庭の紅葉なりけり

十二月四日の夜庭の菊をみて

小雨しける庭のやゝくこよひの菊のこゝろやすくもなし こともなれ

十二月五日第一人拜見

右出学大人

十二月廿日 行路霜

十二月廿日第一人拜見

網すとき霜にかゝれる旅人の袖もしろ[illegible]

閨中灯

旅寝の夜半の灯のかげ[illegible]

右出学大人

須賣神ノ事

寒夜神樂 十二月十九日石ノ人拜見

須賣神

神樂ヲ奏スル事ハ

水字之ム

明治十二年

御制衣

年賀言 旧年十二月拜見

水下書字

謡新年賀言 歌

九 ひらけ

八 皇國ノ字名民ノ

八 ゆたかなる

三 長 氣武

ひらけ

皇國ノ民ノ

ゆたかなる

○右概ネ水字体ニ似タリ

○右ノ概ネ水字体ニ似タリ

常州公館

須賀神ノ事

寒夜神樂　十二月十九日予一人拜見

須賀神

神樂ハ

水下書字

諏訪新年祝言　歌

九　ひらけゆく

八　世を照らすらん民の

八　おい祈や給ふらん

三　良　氣武

明治十二年

御制衣

水下書字

新年祝言　旧年十二月拜見

ひらけゆく

世を照らすらん國民の

おい祈や給ふらん

近愛芳掛ル毛詩拜見被　仰付ノ旨也則　仰ノ儘ノ

処同人ヨリ真字申上ル如斯里字

愚按心得丹々高崎氏風ニ示談ノ処別ニ無心附ス

等ハ同断之御旨不書献上

○右概ヲ示ス時ハ四ツ天ムム

先達御詠ありしより

上

上

八十八ヶ所と唱へ

梅上雪　一月廿七日　二人ニ

寒夜月

寒夜月

寒水芳

梅上雪　岡田子一人ニ

一月廿六日　梅花満枝

一月廿三日　風散梅花

寒夏秋冬

瀧雪　二月二日子一人拝見

常門館

一月廿六日 松上雪 一月廿七日 [illegible]

[illegible]

寒夜月

[illegible]

宗教 水芸

[illegible]

一月廿六日 松上雪 同日下一人[illegible]

[illegible]

一月廿八日 花籠梅

[illegible]

一月廿三日 風散梅花

[illegible]

春夏秋冬

[illegible]

春[illegible]

瀧雪 二月二日下一人拜見

[illegible]

水鳥鷺茂

[illegible]

雨中柳

[illegible]

右山一紙 [illegible]

車中雪

[illegible]

船中雪

[illegible]

山里雪

[illegible]

馬上雪

[illegible]

右山一紙 [illegible]

雨中紅梅

[illegible]

右山一紙 [illegible]

雨中月

[illegible]

右山一紙 [illegible]

宮門省

竹雪 二月[illegible]一人

[illegible]の戸を押あけて見れば白妙の[illegible]竹下折

梅告春近

[illegible]

早春月 二月[illegible]

[illegible]

氷始解

池水の[illegible]

[illegible]

[illegible]

武内宿祢 二月[illegible]一人

[illegible]

昨日 [illegible]

[illegible]

梅村聞笛 二月廿一日[illegible]一人

[illegible]

竹雪 二月四日 一人 [illegible]

[illegible]

梅告春返

[illegible]

早春月 二月 [illegible] 一人 [illegible]

[illegible]

氷始解

[illegible]

[illegible]

仲信

[illegible]

武内宿祢 二月八日 一人 [illegible]

[illegible]

昨日 [illegible]

[illegible]

梅村閑笛 二月廿一日 一人 拜見

[illegible]

生ふ如くの梅は林を穴くれをいつくの里は笛の赤ぶ
山里は此里遠き梅うに梅なつかしに笛の赤ぶ

隣家梅

葉垣のこなたうらなくにほ梅の香は梅の香は

梅花開列丸

さん梅の花は白ひ香ふり数をこそ白ひ香ふ
咲くめは生ひもあらと志れば白ひくさくに雪の春風

園中賞梅

ひとしやも咲梅かくの香の香に春に春の中

月夜踏花影

春は夜の春の月に雪の影をふ定を枝も雪をりけり

以上 望 桂花 小笠久山

海邊春月 二月十五日 一人拜見

わたの海の底まで澄を春は夜の月に勝る定てしけり

春は夜の春の月に雪を花に雪をたたえ

雲中の菜

村々は春の雪は雪の春の雪を

降つこし雪の雪に花おし花を梅も花けり

風折花枝

東庭に遠てし梅の香は枝を折むも惜し春の風

未庭にめてし様も唄はまさふそれをれし高々をしれ

舟人唄笛

葉おし舟底はても笛体の音はしきこそゆらしかけ是

以上御写スム

春夜見庭中梅　三月一日予一人拝見

灯の前にてしきけ梅はれ音れ東ふくかをる庭

舟中聞琴

漂おし舟はうちこと御母也　波にこそふく書琴は音

唄をはうをりにつまてつま琴の音こそ笛の舟の中音

春夜出月

春はものおもひの月を見たまへ雅いへてそすりかよふらん

お母の前にて月も海山をてらに立て来しかけ

春はよりこ前にまゐりて木はまゐり親さに月を見たまへ

籠中梅

生笠はつまりそ籠の中まそ

春雨

朝ふく降てる雨の音れはこんにいとにうけ

ちる雨は降おとれはて里梅のむもちるやとしつ心

春夜聞笛

横の戸にさし入月もみれむこ花ほく笛の音

寒香亭にて

先さかりの梅の林にさらに月の影にも貞へ春れ夕暮

梅花處々

[illegible]

雨中坐鶯

春雨れ降もいとゝ先ぶ梅にさへつゝ鶯れ[illegible]

春夜聞雨

[illegible]

以上 [illegible]

雨中若菜 三月 [illegible] 一人拜見

春雨に下もえ初る七草を[illegible]

忘春雨

[illegible]

旅春月

[illegible]

海辺春月

[illegible]

河辺春月

[illegible]

梅[illegible]

○庭の面の所にうゑ梅よ[illegible]して降てる雨にかをり花にす

○[illegible]

月夜聞笛

○[illegible]

○[illegible]

宮内省

○[illegible]

山中月

○[illegible]

月下[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

春雨の梅

○[illegible]

春雨の[illegible]

○[illegible]

以上御写スム

三月[illegible]

河春月　三月[illegible]

○[illegible]

梅有遅速

○[illegible]

夜深有水聲

屬沢ハ沢ニ非ス池ニ依テ後日更ニ正川直ニ申上

○春の日の空のくまなき池の面の鏡の音をへ志つにうつ春の

以上ハ三首桃ニ志ニ依テ小字スム

寒香亭にて　三月八日拜見

○春むかふ　すゝ池ゆゝ　生の梅の　春の日ゆゝ　春のまゝ　ぬきてうゑつも　ゆゝ

三月　春の日の　月のさし　たゝをこそ

○ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　月　ゆゝ　春の日　ゆゝ

澤邊春月

○春　ひ　沢の　岸の　月　春の　春の　月　春の　春の　月

○ゆゝ　又わ　春の　春の　月　春の　沢の　沢の　小　春の　月

池邊春月

○春の日の　月の　春の　月　春の　月　春の　月　春の　月

○春の日の　月の　春の　月　春の　月　春の　月　春の　月

梅間春月

○咲ふ　ふる　梅の　木の　まに　夕　月の　白ひ　もいと　万　さる　春の　夜

山家春月

○山　ふ　ふ　ふ　宋の　菴を　ゆゝ　ふ　ふ　春の　夜　夜　夜　夜

山春月

○遠　山の　霞の　こゝ　もく　雨し　と　新　こそ　つ　ゆ　春の　月

月前の梅

○梅　の　夜の　月の　春の　夜の　こそ　夜の　梅の　こゝ　を　夜　夜

以上ハ小字スム

梅間聞鶯　三月十日拜見

ほのかに梅の香もきこえしたへなるのみとけさ

窓前春月

春ふかみおほろにかすむ窓にうつる月みれは

庭中梅

ふりくらすたそかれ時に梅の香を咲春風にほのかにも情あれ

田家春月

しつかにたつるやの窓にさしいる梅の月の影みえてつゝ

野春月

武蔵野はあれぬの花のさかりをおもふにも春よの月

庭前春月

春の夜はへたてゝも月影はおほろにてつゝ梅の香そ

池春月

夕月の影もうつる梅のかをりもてうつへき池の面

竹間春月

春の夜を月おほろにて出る舟の影にもかすむ春の内

以上御写スム

野春駒

三月十四日拜見

若草の萌出るも春めくに咲そめし駒のあかは

舟中梅花

休をさして行くうしろ舟にちる梅の香はうくさしさは

池邊柳

咲風にたなひく柳の影に舟よせて池の水の色

[illegible]

[illegible]

旅舩聞波

[illegible]

遠山霞

[illegible]

故郷春月　三月十七日拜見

[illegible]

春暁聞鶯

[illegible]

舩中桜花散

[illegible]

海邊霞

[illegible]

月前狸

[illegible]

旅舩聞波

[illegible]

旅舩聞波　三月十八日拜見

此ノ小ハ[illegible]

あしはのくさくさ[illegible]と[illegible]網ハ[illegible]舟の中[illegible]

[illegible]とこそ舟[illegible]又[illegible]

世の諺に月に村さ[illegible]

[illegible]

遠山[illegible]

[illegible]

對月香酒

[illegible]

[illegible]中春雨

[illegible]

以上十七十八日木[illegible]スム

松間橘 四月十七日以[illegible]為見[illegible] 下[illegible]所労中之故也[illegible]一人拜見

[illegible]は木の松[illegible]とりハかハらぬとうつろひやすき[illegible]

枝[illegible]松のことり[illegible]花のさかりなりけり

池邊橘

[illegible]の底[illegible]池の面に[illegible]

よし[illegible]橘[illegible]

[illegible]山の[illegible]

松上鶴

[illegible]の[illegible]

花浮[illegible]

吹ちらに梅も庭の池のよろふに春のけしなるりけり

樹号梅

春霞たるしそこに白ふかるゝ少しなはやしりの花はあもうけ

風散花

春風にちらすもをしな梅花ひとのるうめはこめもこそあれ

月下花

朧夜の月はいとゞ山さくら庭もひとつに白ふ花かれ

竹露

くれ（若）木の志けるみとりに玉露の光すしき夜（夕月）のくれかな

梅鶯

さく梅の梢にきるくうくひすは声ゝ春の志るしるりけれ

田家春月

綫のをりかゝる田面にさす月のうけおもろるはよのよはそ

忘前花

交まるゝ雨（散くらや）とは（ひの）散ふるさくらむは（文とゝ色にも）雨ふはたるのあしろきに

梅と梅のこゝはりけるをそ

いつのまに梅とうりて梅花ちりても白ふたるは庭うれ

庭梅

笑白ふ梅はいやしに（はもと）来るくこれはるうきたるひも忘れはるに（らはり）

立るゝふ梅のもとる立よりてさうりの花の枝こをるなり

月下花

おもしろよの月は光にさして花白ひくいる春の庭これ

庭柳

すこしはまれるゝ春日のはとはきに糸くりおすゝ庭の青柳

松間花

色うへぬときいの松の木間よりまゝひ浮ちぬるに山さくらかな

ときハ木の松の緑にとうて白ふはとるはしきるりなり

朝柳

青柳の糸はとりも朝霧うすゝにみえぬとるのはとはき

野春草

緑そふむさしはへの春草字打つてうむものとけうりなり

故宮楊

すこるれし都の庭のさくら花今はさうりは白ひこそすれ

朝花

朝霧多れしそこは白ふまて庭はましろにさくさくらかな

月前楊

朧夜の月に白いに山さくらとれのうけにも光さしなり

花瓶楊

花うめにさしても白ふ山さくらこるめもあらぬ雲の色かな

雨中楊

春雨はふるものとはなく花かけにいさらしらんのそそぬるとも沙汰

もとさくら白ひあらそふ庭の面のけしきは忘まもこそれさすなり

櫻宮鶯

まきうりは櫻の花のこれまるも淸ひ沙汰なく白ふ鶯のこ忘

山吹

山吹のさうりの花は下かけにおもくやうりつれこ忘子きてぶ

月前花

おぼつこうなおぼろくとうすめ沙汰も夜乃月ま白ふ山さくらぶ法

杢宮鶯

さ知は木の松のこれまる鶯のこ忘のとうなる春のそうれ

雨中櫻

春雨はふるも靜はまこ雨とは沙外にちりくるものはさくらなり

野雉

春は日の雉のとうなるむさしのにあはるきてはの野子きてうれ

田蛙

西うはむ沙汰田おもくのあせ庭に蛙もこ忘子なりちそなく

春風

雨さうりは櫻の花はよりそそかけ吹ける風に散もこそすれ

雨中新樹 四月廿八日以五色神名見下 三月二日以五色返上

ふる雨にこう紫色そふ庭の木もれ木の林もおもしろきかれ

紀のふまて花とうしあもゝ雨に若葉色そふ庭のたもか相

谷残花

山ふかく苔むれ谷のこみちに散のこりてるさくら花ゝ相

さつきこゝちし楊のむもたゝ一本こゝ也あれ谷にはこゝ表こゝ相

暮春月

明ゆのうすこゝれうちに月かけをのこして表ゝくるは此ゝ相

をしめとも春はかぎりとおもふよれ月もうすこゝをかけてさつ相

名所款冬

山頃のさつきこゝくれてる下かけにうはつ雪なり玉川のさつと

玉川のかつしめやあ雪はる風にちりうくみれにこれなり

格別に御名家と奉拝見ゝ

水邊藤

池の水はこゝ雨て白ふふちなこの花のもこそゆうしうり此れ

河のへ此松にうりかく夜なるの花もさつりにあふ表これ

松間櫻

さきハ本此松のこのまゝ山さくてさくともこゝえにさきこにあひなり

立相しふとなハの松のことりはてちりて白ふる山さくてとれ

原雉

此とうまもうすみこれひくこの山ふ雨に野のとりにあてす雪

野春草

雪とちるさくてのうけにさ此そろふ野へ此なる草ありしさきこれ

田家櫻

春風にあひくれば山さつて志川う田面にちり志まにけり

川山吹

たゞうれけ春にこうねの新にえて笑こそれくる雲ふきの花

花瓶牡丹

[illegible]

松上藤

とかへ木の松にまとりて夜の花いかをさつりとにあひけるう船

枝こうれ松のことりにことうつく今はさつりの庭の夜なみ

以上は字スム

宮内省

一字所望高崎拝見也

四月五日は兼銀

夕帰雁　四月拝見ん　作者別字

夕うれみたるひくそうを人のいそくつきそうて以後く来れん

[illegible]

かりうみ[illegible]

同は通銀

花間鶯

ぐくれすも梅のうぐりをたひおて[illegible]

同上

蛙形画

里遠き山田のあをのいなうくれ[illegible]

以上は三月桃とれ[illegible]

[illegible]

大庭の芳菓と　四月拝見ん　作者別字

[illegible]

宮内省

田家櫻

春風にはにあひくれは山さつて志川う田面にちり志まにけり

川山吹

たゞうれけ春にこうねの新こえて笑こそれくる雲ふきの花

花瓶牡丹

花かめにあしてにあふかこと等なる紀春日のなくさあはさむ

花かめにあふもふうきふうこと等さしてたのしむをすのうち

松上藤

とかへ木の松にかりて夜の花いかをさかりとにあひけるう船

枝こうに松のことりにことうつく今はさかりの庭の夜なみ

以上は字スム

一字所字高崎拝見也

四月五日 兼頭

夕帰雁

四月拝見ん 作日刻 字学

夕うはみたるはくそをしたのいそくつきそのいはくに来れん

[illegible]

かりうまれ来ハ雲 [illegible]

花間鶯

同 通頭

ぐくれすも梅のうぐりとたひおて [illegible]

蛙形画

同上

里遠き山田のあをのいなかくれかちつも [illegible]

以上は三月桃とは帝は字スム

[illegible]

大庭の芳菓と

四月拝見ん 作日刻 字学

[illegible]

朝雲雀

朝あけ霧とかはくけるのよあるこゝろの都を始くうれ

さきこゝろすゝれの床の枝をうけ志ハ雲ゐよきこゝ元けるかれ

馬上見牡丹

豹をそ行ふこゝろのふかゝ家白ひやうこゝ笑こゝろよけり

花散風

吹ひとする風はちりにしるさゝ花にあはしもの[illegible]けり[illegible]

河邊山吹

川のよさ花こゝれるやまゝ家の花のこゝろけよせくうけれ

五月十七日河邊山吹にまり[illegible]

五月[illegible]

庭前櫻　五月七日屋[illegible]　同月十三日以公[illegible]

雨さこうり[illegible]さくらの花[illegible]下かけ立出てやりてこゝるもたのしき

春風に白ひ子ちらす山さくらゝ座まもなこの立ちとそ見るゝ

あすかの山のさくらゝ子

小車にをすゝ川あけて見こゝをハ散のこゝろ山さくらゝこれ

花ゐる山あはちりゐんとおもひしにさくらゝ花さくらゝ

沢杜若

川[illegible]春ふうき[illegible]沢のあるかき法たゝ候[illegible]けもうつり[illegible]これ

紫の色なつうしきこゝ[illegible]こゝ[illegible]沢小のる笑こゝろ[illegible]けり

人傳郭公

八若紫さす杜のこ花のほとゝきに人傳るのこゑてこゝろ和

再出 松上藤

枝さしふ松にうりて花なるの花むしさまにあふなるこゑ和

志ゆりはる松にうりてさく花の花こそ白人 九重 此庭

庭前山吹

庭もせに咲こゝれつゝやゝ吹のむかふにてふも多いむ過ぎにけり

植置しハ重山ふきのさきこゝちてこゝもたのしなる庭の趣こゑ和

山家卯花

たれとふこの山さとの宗かきこゝ雪とまゝ見てさゝる卯花

庭あえし宗のさゝをとひ来ゝいくのとれ頃のあ過ハなりけり

庭新竹

窓のとるこゝとし植くこゝ竹ゝ竹此志ゆきこゝとりに来ゝ志ゝ宗

竹ゝ竹の志ゆるみとりにおくゝ宗此光すしき九重此庭

首夏藤

春過ぎ花のゆうゆうり字おもんめとゝこゝ急に白ふ庭の花なみ

再出 待郭公

こてかしこ志ゆる若なる同とゝきゝ来ゆゆいつとまゝて過ぎ和

谷残鶯

残のをうかくふ山ゆの谷うく過志ゆる若なるうくひすそ和く

山ふうなる谷のぬるゝの正ゝ宗まもなく常のこ急字おてゝ和

尋餘花

散のこる花も白ありけり子こてうしこたつぬる山に日にくれに仍季

芙蓉さにさつらのうけ子たりぬ是にて元にのこる花もあり堂

うくへい傍ニテ片方ノ心下ヲ云ヘ元ハ片枝ト云ヘ此方ハ豆叫ト云ヘ

松下躑躅

宋人の屋すらふ松の下うけに花々ニ多きもしる景清しられ

以上笠子スム

再お

暮春月

五月十四日以公元秘考 見下

同月十六日以公元返上

春もはやくれくれ沙ゆる花の月の光をうけぬなりしが

河の方まで春の淺ゆる人ある明の月も到りはいはぬものを

河梅雨

尋餘花

散のこる花も白紙子にてうしこたつぬる山に日にくれに夕季

芙蓉さにさつてのうけ子たゞぬ是ハくえ元にのこる花もあり堂

うくへハ傍ニテ片方ノ心下ヲ云ヘ元ハ片枝下ヲ此方ハ豆ノ下ヲ云ヘ

松下躑躅

宋人の座すらふ松の下うけに花々ゑそもしら思はしられ

以上ヤナスム

再お 暮春月 五月十四日以公元被為 見下 同月十六日以公元返上

春もはやくれくれ行なり木由ゆかの月の光をうけみなしに

いつのまに春の暮ぬ人あり明の月も知らぬものと

河梅雨

[illegible]

再お 池杜若

むらさ紀のうるつしきうきはしき紀をうゑる庭の池の

郢鍾堂

いゆふ人もうゆきのみちのへにすくし堂も知りすくしきて

雲霧のめくるをうけて雲をしのよりゆるかしるの紀のすき

花瓶杜若 池杜若と同し様あるへしも先ヶ様ぶる事なり

かのの中にさしてもゆしまむらさ紀の花をうしてみるをたのしき

閑庭の鶏

庭もすし宋の戸ゆるにおとしてふ人にあらしくひなりけり

早春月　川春月

氷初為　暁鳴ノ

梅花有遅速 伺　野遊

春風為雨　雨中花 并ニ字アリ

垣ずみ梅の咲くを見て

梅有遅速　張良

栽梅結実　玉

垣朝顔　夕顔白

雪中梅花　苔

星月　月前松風

扇風秋涼

中山従一位家の 寛草花涼　遊暑

月前秋来　岩氷

春柳　庭虫

時雨晴後　寒夜燈

フランクリン　檀浦

神徳日新　崩坂垣

武内宿禰　旅行子浪

寒夜月

杜新樹

卯花似月

以上写スム

貴春

水辺堂

[illegible]

杜新樹

[illegible]

卯花似月

[illegible]

夕月の[illegible]

以上写スム

○雨後夏月　五月[illegible]

夕立の[illegible]

[illegible]

○水邊蛍

[illegible]

流れ[illegible]

郢麦草

[illegible]

麦草の[illegible]

橋梅雨

[illegible]

早苗を

庭新竹 題

梅雨晴

垣根子

梅

庭新竹　語

ゆう竹のそよぐ音多く夏の

梅ぼしの一度の雨にあくるころ

垣根子

朝ごとにかれる秋のきのせ

もゝ草よ露のすゝきの

梅雨晴

さゝれ雲のわれゆく風に

早苗多

雲

暮春月

五月吉祥院 [illegible] 平所 勞言崎拜見之 [illegible]

文学掛に問会ノ事アリ
正風ヨリ返ス

朝更辰

梅雨晴

宮内省

早苗多

[illegible]

再出 水邊蛍

○暮春月

[illegible]

五月[illegible]

[illegible]

朝夏衣

文学掛に問会ノ事アリ
正風ヨリ返去

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅雨晴

[illegible]

浦長月

ひとりのみけりまとまきは月れ[illegible]りもまとしうしの波と

故郷橋

ふるさとのあれし[illegible]

浦郭公

ほとゝきすを[illegible]つるしをとひすれ[illegible]浦[illegible]夜のゆくまと

遠村坂[illegible]火

尺後[illegible]

郭公一部

ほとゝきすと[illegible]

夕月のけさまとより上こゝ志とせのうてをり山本とゝきは

以上ハ[illegible]スム

渡郭公

六月[illegible]日廣情[illegible]朝[illegible]江[illegible]見下
同月十一日藤波言忠来臨則返上

ほとゝきすのうとうけ[illegible]人も[illegible]

かけとれさのかうの[illegible]山本とゝきは

旅宿雨

ふる雨の[illegible]

暁郭公

さゝ[illegible]郭公[illegible]

在明の雲[illegible]山本とゝきは

放口橋

今里のあれし新てたちこれのむの面ひもやうしかり

里夕立

山かせにたをさとめくる夕立の面のなさうもすゝしかりけり

樹陰蝉

しけるあふ若葉のかけにうの蝉のなくこゑすゝしだりこれのうら

垣夕顔

柴かきにまとひてさきる夕顔のむかしをしきさ

山家人稀

山ふかし苔むほうしをたりけり柴のいおりをこゝろみやゝあれ

柴の戸にこゝろ山路のあしたゝ又て吹花をあとをしけり

此ハ一首誰拝見ヘ
ハ今ハ見別
写遠者ナリ

雨中早苗

六月十三日以廣情社為見
十者廣情来遊ナリ

ふる雨にをうせあつきて路のをつ門田れおもれ早苗をなり

ふつりをうつ雨をいとゝ小山田にさとすへ之こゝ見れ夕ぐ

池菖蒲

六月廿三日一人拝見

池のおもれ小のあさきに咲おてうちかけ也浮もくもなしやめこれ

草陰蛙

夕りさん草葉れかけにこゑたゝかきてもはしく蛙なく仙里

月前郭公

ほとゝ起すたゝ一番をこれかなるこの宮れ月にゆくすくなり

[illegible]

行路夕立　六月廿六日一人拜見

[illegible]

六月奉見後天御写スム

滋遠堂　六月廿六日一人拜見

[illegible]

和下泉

[illegible]

閑中庵

[illegible]

舟中納涼

[illegible]

山路夕立

[illegible]

蓮始開　六月廿八日一人拜見

[illegible]

鵜川

[illegible]

草花見歌

[illegible]

行路夕立

[illegible]

雨後早苗

[illegible]

夕月のさしたるをみて　七月一日平一人拜見

[illegible]

雨後蛍

[illegible]

六月五日御菓状　高崎正風拜見之

深夜螢　七月五日拜見被　仰付則写立ノ

[illegible]

同日御當座

瞿麦

[illegible]

稲雨

[illegible]

海邊夕立　同日平一人拜見

[illegible]

扇風秋近

[illegible]

夏雲

[illegible]

今日御菓状　以下中三首如本集里宮本門主之中上之後猶高崎正風へ右主示談之如浦杜小四句同人勘考アリ則

[illegible]

同日御當座

夏月深

[illegible]

夏松

[illegible]

正風云

[illegible]

夏花 七月九日第一又拜見

池の面は蓮の[illegible]

垣朝顔

[illegible]

水邊 [illegible]

[illegible]

池蓮

[illegible]

牛の夏月

[illegible]

夏鳥

[illegible]

山家郭公 七月十二日第一又拜見

[illegible]

夏衣

[illegible]

松陰納涼

枝さうふ[illegible]

松下納涼

こすゑよりこゑしタ[illegible]

松辺納涼

年を重し松のほとりにまてこれを[illegible]

夕立風

かきくもりたゝ一し[illegible]夕立[illegible]

雨中郭公

あし川の[illegible]

松間納涼

[illegible]夕すゝ[illegible]

雨中蟬

夕立[illegible]

夕立晴

[illegible]

一葉散林　七月十六日第一人拜見

[illegible]

蔵末不[illegible]

[illegible]

閑居鈴虫

[illegible]

牛風夜深

[illegible]

夏海　七月晋帝一人拜見

[illegible]

夏獸

[illegible]

牛宮納涼

[illegible]

風[illegible]

松陰納涼

[illegible]

松島納涼

[illegible]

松宮納涼

[illegible]

故郷荻

[illegible]

朝雲

[illegible]

避暑

わきに[illegible]

雨中鷺

[illegible]

松上新

[illegible]

窓前夏月

[illegible]

松陰納涼　七月六日[illegible]一人[illegible]

[illegible]

夏月[illegible]

[illegible]

川辺夏月

[illegible]

水邊夏月　七月六日[illegible]一人拜見

[illegible]

松陰納涼

[illegible]

朝[illegible]

[illegible]

蟬[illegible]

[illegible]

[illegible]

放[illegible]しかくれ[illegible]

山家夕立　八月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田上稲雲

[illegible]山田の[illegible]

夜月　八月四日　[illegible]

[illegible]

初秋月

[illegible]

萩風驚夏

[illegible]

隣[illegible]朝顔

[illegible]

尋虫

[illegible]

この秋も千葉の中にかくれむしの声なしとこゝろ得れ

むさしの[illegible]かくれぬ東のこゝろをあつめぬる秋のゆふれ

山家夕立

おもかげにうきたちまさりする夕立のこのやまさとにふるもすゞしき

萩移水

さく萩の葉の露のすゞしきようつるもさびし秋のゆふ風

夕立雲

空雲のうるとこれは山雲のしたにけよふるをすゞしき

新橋夕立

[illegible]しきりしいまはまつ子ふとりし橋よりたちもしぬるゆふ立のあめ

山夕立

うきぐものうる山路も夕立の雨のせゝらぎはすゞしかりけり

田夕立

稲のあひだにうる田面のゆふ立のふりてだにもぬれぬるかれ

雨は出ぬ　八月五日人を見

[illegible]もしをすぐる雨はるゝのあめやくもの[illegible]

残暑

秋きてもなほ夕風をまちつゝ立をしぬ社の下陰

暁雨

[illegible]をひきてしぬれ白露のそら

朝霧

朝なさな晴ちつもられぬ霧の立ちこめて秋の山みち

夕霧

草枕結びすてゝ夕つゆの道しるべして心あれ

夜霧

秋はなほ草の葉ごとにおく露や霧をわけ入るやどりかな

霧間

咲きにし庭の千草も霧の上に立ちのぼる霧にうづもれにけり

霧深

ちぢにさく庭の花も白霧に袖もしめりて秋の夕暮

秋ふかみなかれの末は霧たちて行方もしらぬ[illegible]

江霧

舟泊の江の岸ちかく白霧のこめて見えし秋の夕を

野霧

咲きし野の草むらくる夕霧にほのかに濡れし朝の露

草霧

咲きそむる草むらの夕霧の晴れ遠く見え渡る道

夕立雲　八月八日以下同題作

見えつる神も雲の[illegible]山の[illegible]

山夕立

山のたまうるとこゝろしてをしてかゝれすし夕立のそら

田夕立

夕立くる山田の杉のよ夕立のかゝるゝ音にすゝしかりけり

萩移水

さく萩のうつろふけ物のかゝるまゝ水もなかれしこゝ川の河

山家夕立

夜ふかきこゝろ山さとよりふ立の雲のうとこゝろくうる浮くも

海初秋

いつのまゝ夜いつまたんうなけらのせこゝろ字をとる秋のけつを

打たす波の音も秋きぬと物思ひすゝしすゝのうしれ

尋出

ふるひてはけゆく雲の草村よりまこゝ立やかしくろ見しかれ

初秋夜

ひさしりハ新の初風ゆかしくて秋てうちなる落ころもれ

ひさしりハ[illegible]なしに扇もすゝしてこゝろのまゝすゝしし秋のうろ風

竹雪網涼

かゝやとの味れ布しのうけハ夜もすゝしきこ風なしかすり

隣家朝顔

小しんうき[illegible]立へうまてかゝりし屋こゝ[illegible]あさうの花

[illegible]

故郷虫　八月十六日一人拝見

ふる里はあれしまゝに下草に集ひも乱るゝ虫の声

草花盛

秋の花さかりとさきの花の上に露もたまらぬ哉

野に出て野の草の花見る人は心なく廉まで野にかへるらん

江上雨

難波江に入てつる夕暮に波の音のみ聞えける哉

遠村煙

山さとは松のあらしにさそはれて煙のたつも見えわたるかな

舟中暁月

ゆく舟もしづかにてらす浪の上はあけぬに残る有明の月

山家夕立　八月十四日一人拝見

山かげの夕立すぎし木の葉のうへを見るも涼しき夕立の雨

かきくらし夕立すぎし空にけさすゞしくなりぬ夕暮の空

池水翫鏡

きよき水をしらぬ池にうつりてあさからぬ人のかげも見ゆる哉

日暮雨

山里へ秋のはじめの夕暮に空もなく雨ぞそゝぎける

田夕立

夕立のふるさきかへて緑なる小田の早苗のかへる涼しさ

夕立雲

降そゝぐ雨とみえしも関越えさそをのよこぎる夕立

夏月

[illegible]

蟬[illegible]

[illegible]

井間鈎深[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲間初唐

[illegible]

[illegible]

夏月

[illegible]

夕立風

[illegible]

遠夕立

[illegible]

竹露 八月廿日帝一人拜見 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

住家

草ふかく村田なる人の野辺の家にすまひもゆるく秋ふかみけり

湖家

葦垣にかこひて住める湖の家のまゝに波の音あかすらむ

野に住む田の中なる野辺の家のおきあかすくにやすらふ

夕家

秋草のしげみにまじる夕煙をとしてかくるゝ山もとの家

社家

名も知らぬ木々も草木も白露のおきあまりたる秋の夕ぐれ

遠夕立

幾のむらも遠山かけて小野も夕立の雨ふりしきりなしてきにけり

雨後納涼

夕立のなごりしらるゝ風ふきにして涼しさみえぬ夜の戸の月

池蓮

はちすばにおきあかしける露の玉をたまとみるまでさしいるかな

庭虫

庭の面の草むらごとに鳴く虫の声を夕にしる秋をこそしれ

閑庭萩

なつかしみ住める庭のをときかぬ咲く萩の花のさかりなりけり

秋風もふきあへぬ庭の萩の花夕露ふかくおきぬべらなり

雨中の庭

あさかさの露の雨よそにて庭のつゆさへかゝるぬれつゝぞみる

宮内省

さたれ月れ雨をしるへ申見れ中宮をもて後ろ月

待月

山端の月れ雨をしるへ申見れ中宮をもて後ろ月

[illegible]

学び雪

[illegible]

暁鳥

人々[illegible]

暁虫

[illegible]

去ル十八日岩倉邸　臨幸之節

御制衣　言時正風へ云ふ本宮ノ上本宮ノ通リ一帋認般上リ

十八日夜庭にて[illegible]

[illegible]

岩倉　大臣邸ニ臨ム時庭の来にともし火をかけつらる

たらを又て　伝　小沙汰山方　小沙汰ニ申上リ

又ハ

庭の来にともし火をかけ連ねたらをとて

[illegible]

庭前秋月　八月十三日ニ一人を

[illegible]

池蓮

池水にうつるもすゞしきかけ浮ぶ[illegible]

風にうゝ池の蓮の葉うゝれるも花も浮しく[illegible]初[illegible]

海上月

[illegible]

池上見月

池水にうつるも清き月[illegible]

遠山麻

遠山に[illegible]

田家暁麻

[illegible]

田家聞麻

[illegible]

田家麻

[illegible]

秋田露

[illegible]

蓮[illegible]

[illegible]

蓮[illegible]

[illegible]

池蓮

[illegible]

遠山庵

[illegible]

八月二十二日の夜[illegible]

[illegible]

虫悲

[illegible]

月似古　八月[illegible]

[illegible]

池蓮

[illegible]

遠山庵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

野外[illegible]

[illegible]

田家[illegible]

[illegible]

田家庵

[illegible]

海[illegible]

[illegible]

雪中庵

秋きりぎりこえへてうりてさをしこれ[illegible]

七夕

こよひ[illegible]

七夕草花

[illegible]

遠村[illegible]

[illegible]

暁雲

[illegible]

古郷鶴

[illegible]

月[illegible]

八月廿八日市[illegible]拜見

月[illegible]

田家庵

[illegible]

海上月

[illegible]

[illegible]

遠村[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田家暁雨

[illegible]

[illegible]

池蓮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初秋雨

[illegible]

[illegible]

海[illegible]

[illegible]

[illegible]

池蓮　九月下旬一天雨

[illegible]

初秋雨

秋あさ[illegible]

七夕雨

[illegible]

雪中庭

[illegible]

秋雪[illegible]

月雪厂

[illegible]

田家庭

[illegible]

七夕草花

[illegible]

田家暁庭

[illegible]

月照[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

待紅葉

[illegible]

田家暁庚 九月四ツ[illegible]一人[illegible]

[illegible]

田家庚

[illegible]

旁中庚

[illegible]

月照[illegible]

[illegible]

待紅葉

[illegible]

岸仙柚

[illegible]

七夕[illegible]

[illegible]

月雪[illegible]

[illegible]

[illegible]庚

[illegible]

庚出

度の毎の草等の事なれば其のおもしろくいひゆかんとす

蓮麻呂

[illegible]

蓮[illegible]

[illegible]

田家暁麻 九月廿五日 天拜見

[illegible]

待紅葉

[illegible]

雪中麻

雪ふきてこの[illegible]

蓮仙油

[illegible]

七夕草花

[illegible]

[illegible]

月前戸

[illegible]

[illegible]

湖上雪

雪ふきかくれ仲の[illegible]

山家月

[illegible]

海田煙

[illegible]

月入簾　九月九日第一人拜見

[illegible]

海人訊月

[illegible]

雪中鶴

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪中鶴

[illegible]

故山掃[illegible]

[illegible]

山家橋

山ふかのいはまたくなの新こえてさむきあすかゝ[illegible]

七夕

夕霧れあまびそわらつ方なをかけてもゆる宮生谷の[illegible]

雪陽茂

[illegible]

蓬仙

私の[illegible]

蓬仙袖

旅人の袖うと笑くて[illegible]

[illegible]

雪陽茂

九月十六日一人[illegible]

天井川いうとの掛れ[illegible]

七夕

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪中鶴

私[illegible]

月雪居

[illegible]

月照東

月清く田中れいほと[illegible]

宮内省

[illegible]

詩紅葉

[illegible]

野出　九月十三日

[illegible]

江上月

[illegible]

宮前月

[illegible]

詩紅葉

[illegible]

齊陽氏

[illegible]

名所紅葉

[illegible]

月出

[illegible]

名所岡

[illegible]

岡紅葉

[illegible]

夕月

宮内省

海辺晩望

野草　九月九日　平尾諄　彩秀　見下

池上秋

秋風

若木秋夕

幸村秋夕

菜月

幸村梦

みらしきたるいりくのうすゝかはしたるものあるものの夕くれ

野薄

あきはてしかれのしたれ葉にしきやひきゝ人のそてこそもしき

金莊

嵐にかきこのときのとき此のそこもさひし此の夕くれ

庭の菓

庭の菓此海つのこのまに落りこゝろかはしてあるまた時なり

杜鵑菓

むらしゆゑ楯のりこちいつかしきまたりしかれのひのりし

月前柳

さは月のかけかうれてこたぬまに柳しらしもやつこゝろ

山家人

むらしの菓のこれにはしきむ人あまし形の月前なりし

青中の菓

秋かしこゝあしりみちのこゝろすしこゝ白るまうしてこゝろ

秋ふきしちの来るのりこゝろしこゝあきこゝろもしてこゝろ

毎朝菓

秋かしやとの戸明くこゝろ庭にさこゝ白ひるしこゝろかれ

庭菓

ふるの雪るに庭のきこゝ此花ノの代もかゝる深白ひりし

以下全て

白　紙